

第6学年 国語科学習指導案

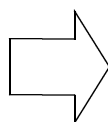
日時 平成26年10月 6日(月) 6校時
児童 男子10名 女子15名 計25名
授業者 教諭 高橋 雄賢

- 1 単元名 宮沢賢治作品に込められた作者の思いを「推薦カード」にまとめよう
主教材 「やまなし」(光村図書 6年)
補助教材 「イーハトーブの夢」
「雨ニモマケズ」等 宮沢賢治作品

2 単元を貫く言語活動と付けたい力の説明

【付けたい力】

- ・目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することができる力。(Cイ)
- ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめる力。(Cエ)



【単元を貫く言語活動】

- ・宮沢賢治作品を読んで、作品に込められた作者の思いを「推薦カード」にまとめる。
- ・カードには、「作品名」「作者名」「あらすじ」「作品に込められた作者の思い」をまとめる。

【その特徴】

- ・作者の考え方や生き方をもとに、複数の宮沢賢治作品を読むことで、作品に込められた作者の思いを考え、まとめ、推薦しやすい。

3 単元について

(1) 教材について

小学校学習指導要領における第6学年「C 読むこと」の領域の目標は、「目的に応じて、内容や要旨をとらえさせながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。また、本単元に関わっての指導内容は、「イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」である。

本単元は、目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することができること、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることを主なねらいとしている。本作品は、2枚の幻灯によって対比された物語の世界を読み比べることで、「生と死」「光と影」「奪うものと与えるもの」等の、人間の内に深く関わるような事柄が読み取れる。さらに、作者の他の作品を読んだり、なぜ「やまなし」という題名をつけたのかを考えたりすることにより、作者が作品を通して何を伝えたいのかという作品に対する作者の思いを読み取ることができる。また、「かのにの親子」の描写を中心に、様々な小動物や植物が登場するとともに、比喩表現や擬音語・擬態語、色彩語などが多様され、色鮮やかな情景が描かれている。これらは、作者独特の表現であり、作者の他の作品を読むことで、その独特な世界をさらに

味わうことができる。「イーハトーブの夢」は、作者である宮沢賢治の考え方や生き方、作品の背景や考えの背景となる出来事が書かれている。この資料を生かすことで、「やまなし」の世界をより効果的に読み深めることができる。

本単元の学習を通して、作者の考え方や生き方から作者が「やまなし」に込めた思いをとらえたり、自分の考えをまとめたりする力を高めたい。また、作者の他作品を比べて読み、作品に込められた作者の思いを考え紹介し合うことで、自分の考えが深まることも期待したい。

(2) 児童について

児童はこれまでに、6年「カレーライス」の文学的な文章を読む経験をしている。「カレーライス」では、登場人物に自分を重ね合わせてその言動や心情を読んだり、人物相互の関係から登場人物の心情をとらえたりする学習をしてきた。また、作品に込められた作者の思いを考え、まとめるという言語活動については、5年「わらぐつの中の神様」で気に入った表現から想像して書く学習をしている。

これらの学習を通して、自分の体験と重ね合わせることによって登場人物の心情をとらえることができるようになってきている。しかし、自分の考えをまとめたり伝えたりする力に個人差がみられる。

以上のことから、この単元では作品の主題について考えることを通して、それについてまとめたり伝えたりする力を高めていきたい。また、クラス読みで交流したことを生かして、他との違いや共通点などに気づき、自分の考えに広がりや深まりを期待したい。

(3) 指導にあたって

本単元では、「宮沢賢治作品を読んで、作品に込められた作者の思いを『推薦カード』にまとめる」ということを単元のゴールとして設定する。

「みとおす」段階では、宮沢賢治作品に込められた作者の思いを伝えるために、図書室に宮沢賢治コーナーを設置して5年生に読んでもらえるような「推薦カード」を書くことを確認した上で、教師作成の「推薦カード」を提示し、単元の見通しをもたせる。その際、並行読書のねらいについて伝える。宮沢賢治の作品を推薦する「推薦カード」は、あらすじ、この作品に込められた作者の思いの2要素を考えている。目的意識、相手意識を明確にした言語活動に向かって、これからの学習の見通しやイメージを持たせていきたい。

「ふかめる」段階では、「イーハトーブの夢」を読み、さらに補助資料として「雨ニモマケズ」を用い、作者の考え方や生き方を学んだ後、「やまなし」を読み進める。五月の場面を全員で確認しながら読み取っていく。「かわせみ」の出現による「かのにの兄弟」の様子から、「かわせみ」の役割をみんなで考え、そこから作者の思いを想像していく。十二月の読み取りは各自で行い、「やまなし」が落ちてきたことによる「かのにの兄弟」の様子から、「やまなし」の役割を考えながら作者の思いを想像していく。その際、「五月」と「十二月」に込められた作者の思いを比べながら読み取っていく。さらに、作者の考え方や生き方を重ね合わせて作者の思いを捉え交流する。交流したことを生かして、作者の思いについての自分の考えを見直し、「やまなし」についての「推薦カード」を完成させていく。このことが3次の活動に生かされていくので、この活動を丁寧に行いたい。

「いかす」段階では、「推薦カード」作成の仕方を生かし、他の宮沢賢治作品の中からお気に入りの作品を選び、その作品に込められた作者の思いを考え、「推薦カード」を書いていく。2次と同様に、あらすじ、この作品に込められた作者の思いを「推薦カード」の中に入れて書かせたい。単元の最後には、「推薦カードを書く」という言語活動でどんなことを学んだか、学習の振り返りをしていく。

並行読書については、宮沢賢治作品を複数読み、一番推薦したい本を選んでおくようにする。その後、選んだ本を繰り返し読み、あらすじと作品に込められた作者の思いをとらえさせ、「推薦カード」を作らせたい。

4 単元の指導目標および評価規準

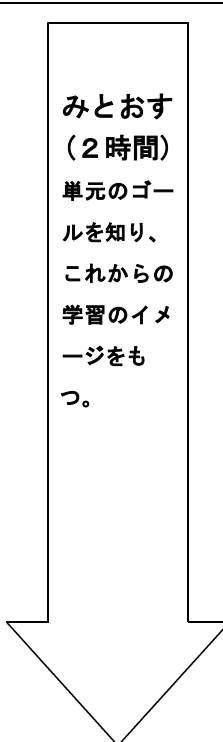
(1) 単元の指導目標

- 宮沢賢治やその作品に興味をもち、進んで作品を読み進め、作品に込められた作者の思いを考え推薦カードを書こうとしている。 (関心・意欲・態度)
- ◎目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することができる。 (Cイ)
- ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。 (Cエ)
- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。 (伝国イ(カ))
- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 (伝国イ(ケ))

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治やその作品に興味をもち、複数の作品を読み、作品に込められた作者の思いを考え推薦カードに書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫している。 (Cイ) ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 (Cエ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもっている。 (イ(カ)) ・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 (イ(ケ))

5 単元の指導計画 (8時間扱い)

学習過程	主な学習活動	教師の支援	評価規準
<p>みとおす (2時間) 単元のゴールを知り、 これからの学習のイメージをもつ。</p> 	<p>①教師作成の推薦カードを見て、作品に込められた作者の思いを紹介することについて関心をもち、今後の学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>宮沢賢治作品に込められた作者の思いを「推薦カード」にまとめよう。</p> </div> <p>②「イーハトーブの夢」を読み、宮沢賢治の考え方や生き方を理解する。補助資料「雨ニモマケズ」も使い、賢治の考え方や生き方をとらえる。</p>	<p>○推薦カードの相手意識、目的意識をしっかり持たせられるように、見本カードをもとに確認し、学習の見通しをもてるようにする。</p> <p>○宮沢賢治の考え方や生き方をまとめられるように、その根拠となる叙述から考えさせるようにする。</p>	<p>★推薦カードの見本から、作品に込められた作者の思いを書くことがわかり、学習の計画がわかる。 (関・意・態)</p> <p>★賢治の考え方や生き方について、自分の考えをまとめている。 (Cエ)</p>


<p>ふかめる (3時間)</p> <p>「やまなし」を読み深め、推薦カードの書き方を覚える。</p>	<p>③「やまなし」の全文を読み、あらすじと文章構成をとらえる。</p> <p>④「五月」と「十二月」を比較し、それぞれの場面に込められた作者の思いについて考える。</p>	<p>○登場人物、あらすじ、文章構成をとらえさせるようにする。</p> <p>○「かわせみ」と「やまなし」の出現による「かにの兄弟」の様子から、それぞれの役割を考えさせたい。</p> <p>○作者独特な表現（擬音語・擬態語・比喩表現等に注目させて、違いを捉えることができるようにする。</p>	<p>★文章の大体の内容と文章構成をとらえている。 (Cエ)</p> <p>★「五月」と「十二月」の場面に込められた作者の思いを読み取っている。(Cイ、エ) (伝(イ(か、け))</p>
<p>いかす (3時間)</p> <p>自分の選んだ賢治作品の推薦カードを書き、交流する。</p>	<p>⑤作者の考え方や生き方を重ね合わせて、「やまなし」に込められた作者の思いについて考え、交流する。 (本時)</p> <p>⑥「やまなし」と同じ形式で自分で選んだ本の推薦カードを書く。</p> <p>⑦推薦カードを見合い、感想を交流する。</p> <p>⑧今までの学習の振り返りをする。</p>	<p>○「やまなし」に込められた作者の思いについて考え、自分の言葉でまとめ、交流させたい。</p> <p>○あらすじと作品に込められた作者の思いを考え、推薦カードを書かせたい。</p> <p>○同じ本を選んだグループに分け、同じ本でも人それぞれ感じ方の違いがあることに気づかせたい。</p> <p>○推薦カードを書くという言語活動で、どんな学びがあったのかを意識付けたい。</p>	<p>★自分の言葉で作者の思いを捉えることができている。 (Cイ、エ)</p> <p>★「やまなし」の書き方を生かして自分の選んだ本の推薦文を書いている。(Cイ)</p> <p>★推薦カードを見合い、書かれていることに対して感想を述べている。(Cイ、エ)</p> <p>★今までの学習から新しく学んだことを書いている。 (関・意・態)</p>

6 本時の指導

(1) 目標

「やまなし」に込められた、作者の思いについてとらえることができる。

(2) 展開

過程	学習活動と主発問	時間	○支援の手立て ★評価
みとおす	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「やまなし」に込められた、作者の思いについて考えよう。</p> </div>	4	<p>○「五月」と「十二月」に込められた作者の思いを考えてきたことを確認させたい。</p> <p>○ これまでの学習で引いた線や囲み等に着目しながら学習を進めていくという見通しをもたせたい。</p>
ふかめる	<p>3 賢治の考え方（理想）と生き方（人物像）を、「イーハトーブの夢」から探し、作者の思いを考える。（一人読み）</p> <p>◆賢治の考え方や生き方から、作品にこういう思いを込めたかったのではないかと考えた根拠を書きましょう。</p>	8	<p>○「イーハトーブの夢」と「やまなし」とを結びつけて、作者の思いを考える観点として見つけさせたい。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《(1) ねらいに沿った一人読みの工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の考え方や生き方と、「やまなし」のどの部分が一致するのかをワークシートに書かせたい。 </div>
	<p>4 「やまなし」に込められた思いについての考えを交流し、「～を伝えなかった」という表現でまとめる。（グループ読み）</p> <p>◆「やまなし」に込められた思いを「～を伝えなかった」という表現でまとめてみましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分の考えを発表する。 ② 発表者に対して、質問や感想を述べる。 ③ なるほどと思った考えやぜひ紹介したい考えを選ぶ。 	12	<p>○自分の読み取りと似ているところや違うところに気をつけて聞き合い、グループごとにまとめさせたい。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《(2) 自分の考えを深める活動の工夫》</p> <p>グループ読み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人との共通点や相違点に気をつけて聞かせる。 ・他の人の意見を付箋に書かせながら聞かせたい。 ・全員の発表が終わったら、意見を短冊に書かせたい。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>クラス読み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ交流が終わった班から黒板に短冊を貼らせる。他の班と同じような場合、近くに貼らせたい。 ・貼られた短冊から、どのようなまとまりなのかを考えさせたい。 </div>
	<p>5 全体で話し合う。（クラス読み）</p> <p>・「賢治は～ということを考えてきた。やまなしでは～ということを経験したという意見にまとまりました。その理由は～だからです。」と発表しましょう。</p>	15	

	<p>◆「やまなし」の作品には、賢治のどのような思いが込められているでしょう。</p>		<p>★「イーハトーブの夢」に書かれた賢治の考え方と生き方と「やまなし」に書かれた表現から、作品に込められた作者の思いについて考えることができたか。</p> <p>○作品に込められた作者の思いをまとめることがむずかしい児童には、「5月」と「12月」の場面を比較した学習から、「やまなし」はどのような存在として描かれていたかに気づかせる。</p>
<p>まとめる</p>	<p>6 作者の思いについて感じたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の思いについて、自分の考えと友だちの意見を比べて感じたことを書きましよう。 <p>7 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<p>6</p>	<p>《（3）言語活動に結び付く場の設定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし」に込められた作者の思いについての考えを交流したことから、一人一人がどんなことを感じたかについて書かせたい。

(3) 板書計画

学習のゴール

宮沢賢治作品に込められた作者の思いを「推薦カード」にまとめよう。

やまなし

宮沢賢治

「やまなし」に込められた、作者の思いについて考えよう。

作者の考え方（理想）から

① 人間がみんな人間らしい生き方ができる社会

② 人間も動物も植物も、たがいに心が通い合う世界

③ 我が身を犠牲にしても、人のために尽くす

作者の生き方（人物像）から

ア 自分を犠牲にしても、人のために尽くす

イ みんなのために、一生懸命最後までやり遂げる

ウ どんなものでも、命あるものを大切にする優しさ

「やまなし」に込められた作者の思いは？

- ・ 作者は、①を求めていた人なので、「やまなし」では、平和な世界の大切さ
- ・ 作者は、イの生き方をした人なので、「やまなし」では、心が通い合う大切さ
- ・ 作者は、③の生き方をした人なので、「やまなし」では、他人のために尽くす大切さ

を伝え
たかった